FRONTEO

2027年3月期　第2四半期
決算説明会資料

株式会社FRONTEO　証券コード 2158

2026年11月16日

CONTENTS

01　決算ハイライト　3

02　ライフサイエンスAI事業　7

03　リスクマネジメント事業　29

04　DX事業　35

Appendix　会社案内

FRONTEO

01 決算ハイライト

2027年3月期 上期 経営指標 “下期偏重の計画で通期の見通しは予想通り”

- 連結売上高は、**ライフサイエンスAI事業が40.3%増**、および**アルネッツ（DX事業）が32.7%増**と大幅に増加したが、リスクマネジメント事業の製造業を含む大口顧客解約の影響を補えず、前年同期比2.5%減で着地
- 連結営業利益は、リスクマネジメント事業の売上減少により営業損失。下期から収益が拡大する見通しであり、**通期では計画通り黒字予定**
- **引き続き、ライフサイエンスAI事業を中核事業と位置づけ、経営資源を戦略的に選択・集中することで、事業拡大を加速**

連結業績

売上高	3,292百万円 前年同期比 ▲2.5%
営業利益	▲244百万円
EBITDA	16百万円

ライフサイエンスAI事業

売上高	営業利益
384百万円 前年同期比 +40.3%	▲149百万円

リスクマネジメント事業

売上高	営業利益
1,539百万円 前年同期比 ▲24.2%	▲114百万円

DX事業

売上高	営業利益
1,429百万円 前年同期比 +32.7%	68百万円

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

2027年3月期 上期 連結業績および進捗 “ライフサイエンスAI、DXが好調”

- ライフサイエンスAI事業 ：売上高は**40.3%成長**。AI創薬分野の案件積み上げにより増収、営業損失は前年同期比から改善。計画通り通期黒字化へ
- リスクマネジメント事業 ：ビジネスインテリジェンス・コンプライアンス支援分野における、製造業を含む大口案件の解約により減収減益
- DX事業 ：アルネッツの売上高は**32.7%増**と増収増益

連結損益計算書

（百万円）	FY25 上期	FY26 上期	前年同期比 増減	前年同期比 変化率	FY26 業績予想	進捗率
売上高	3,375	3,292	▲ 82	▲2.5%	7,600	43.3%
（ライフサイエンスAI事業）	273	384	+110	+40.3%	1,500	25.6%
（リスクマネジメント事業）	2,031	1,539	▲ 491	▲24.2%	3,500	44.0%
（DX事業）	1,077	1,429	+352	+32.7%	2,600	55.0%
（セグメント間取引消去）	▲ 6	▲ 60	-	-	-	-
売上原価	1,768	2,052	+284	+16.1%	-	-
売上総利益	1,607	1,239	▲ 367	▲22.8%	-	-
販売費及び一般管理費	1,614	1,484	▲ 130	▲8.1%	-	-
営業利益	▲ 7	▲ 244	▲ 236	-	300	-
（ライフサイエンスAI事業）	▲ 184	▲ 149	+35	-	100	-
（リスクマネジメント事業）	137	▲ 114	▲ 251	-	95	-
（DX事業）	46	68	+22	+48.8%	105	-
（セグメント間取引消去）	▲ 6	▲ 49	-	-	-	-
経常利益	▲ 25	▲ 229	▲ 204	-	250	-
当期純利益	▲ 72	▲ 186	▲ 113	-	150	-

※ 2027年3月期よりセグメント変更しております。2026年3月期の売上高、営業利益などの項目は、変更後の区分方法により作成したものです。

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

2027年3月期 上期 連結業績および進捗 “自己資本比率は39.5%と安全水準”

- 自己資本比率は39.5%と安全水準。経営の安定と成長のバランスをとった資本政策を推進
- 2026年7月、ライフサイエンスAI事業の持続的な成長拡大を確実に推進することを目的として、総額12.2億円の借入を締結

連結貸借対照表

（百万円）	26/3	26/9	26/3比 増減	26/3比 変化率
資産の部				
流動資産	3,834	3,004	▲ 830	▲21.7%
現預金	1,734	1,266	▲ 468	▲27.0%
売掛金及び契約資産	1,506	1,081	▲ 425	▲28.2%
貸倒引当金	▲ 35	▲ 39	▲ 4	-
その他流動資産	629	696	+67	+10.6%
有形固定資産	451	419	▲ 32	▲7.1%
無形固定資産	2,478	2,558	+79	+3.2%
ソフトウェア	644	873	+228	+35.5%
のれん・顧客関連資産	1,239	1,195	▲ 44	▲3.6%
投資その他の資産	2,437	2,779	+342	+14.0%
資産合計	9,202	8,761	▲ 440	▲4.8%
負債・純資産の部				
流動負債	4,181	3,879	▲ 301	▲7.2%
固定負債	1,176	1,235	+59	+5.0%
純資産	3,844	3,645	▲ 198	▲5.2%
負債・純資産合計	9,202	8,761	▲ 440	▲4.8%

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

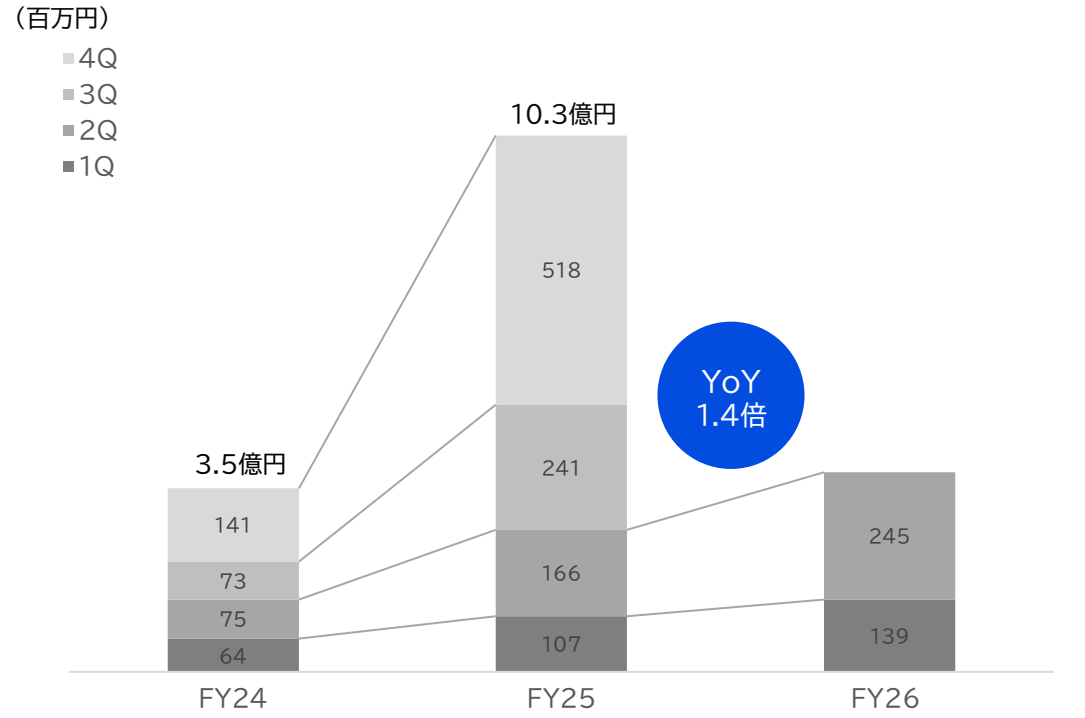
02 ライフサイエンスAI事業

FRONTEO

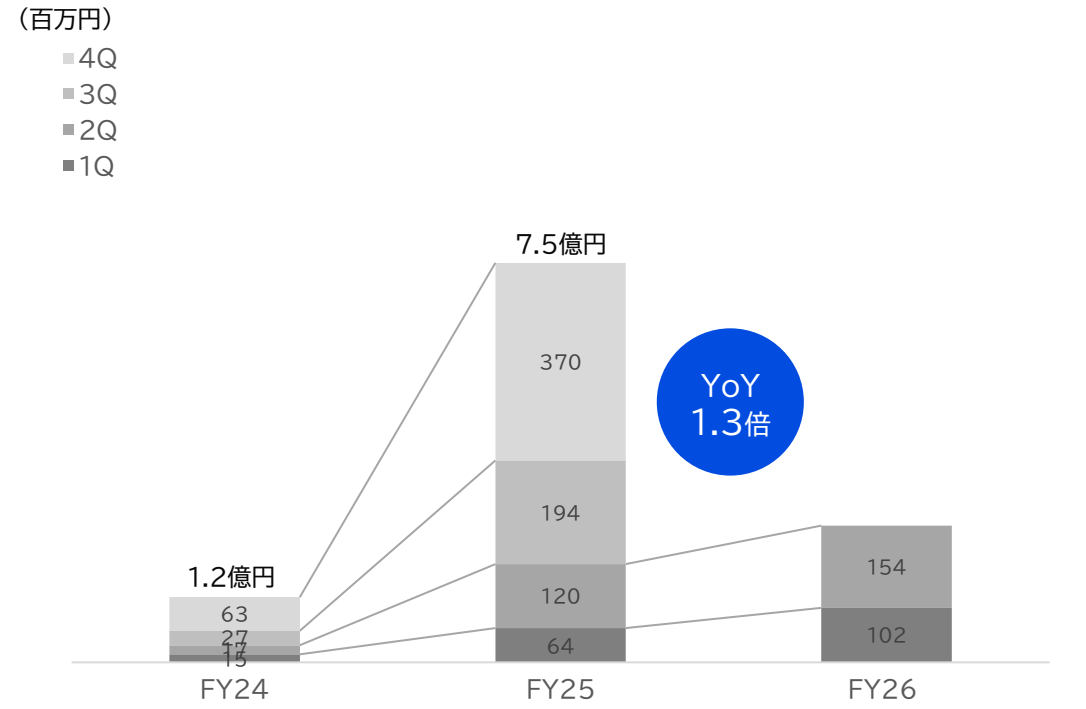
ライフサイエンスAI事業 売上高

- 売上高は**40.3%増**と大幅増収
- AI創薬分野のAI創薬支援サービス “Drug Discovery AI Factory（DDAIF）” は、共創プロジェクト※案件が順調に推移。第1弾の成果を受けて第2弾の取り組みも進む。また、国内バイオベンチャーとの共同創薬エコシステム事業「DDAIF Innovation Bridge」も順調に案件が積み上がる
- AI医療機器分野において、塩野義製薬との共同開発の「会話型 認知機能検査用AIプログラム医療機器（SDS-881）」は、製造販売承認取得および社会実装に向けた開発が着実に進捗。「トークラボKIBIT」については、本格的な営業展開のフェーズへ移行

売上高



AI創薬売上高



※ 共創プロジェクトとは、製薬企業と当社の研究チームが協調し、検証済標的の獲得までを目指す形態

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

- 純国産・方程式駆動型AI「KIBIT」は数学者が発見した方程式(トヨシバ方程式)により駆動
- トヨシバ方程式により文書や単語を意味をもったまま解析することが可能

トヨシバ方程式 日米欧特許技術

$$L=a\{F(\theta 2)-F(\theta 1)\}$$

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2-4ac}}{2a}$$

＊方程式はイメージです

推論を実現

- ✓ 因果関係を理解
- ✓ 全く新しい発見
- ✓ 極省電力(CPU1個)

トヨシバ方程式により、
巨大データセンターや膨大な電力が必要ない超高性能AIを実現

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

02-1　AI医療機器・非医療機器

FRONTEO

ライフサイエンスAI事業 AI医療機器・非医療機器 パイプライン

- AI解析による会話型の「あたまの健康度」判定Webアプリケーション「トークラボKIBIT※」の提供を開始。日本生命保険、朝日生命保険に導入済み
- 日本生命保険では契約の維持管理における職員による意思確認業務を支援する検証を開始するなど、複数の案件が進行中
- 「会話型 認知機能検査用AIプログラム医療機器（SDS-881）」について、臨床試験が2026年3月完了。2026年度中の承認取得を目指す
- 他疾患を対象としたアライアンスおよび非医療機器における産業横断アライアンスの協議が進行中

アライアンスのパイプライン



※トークラボKIBITは医療機器ではありません

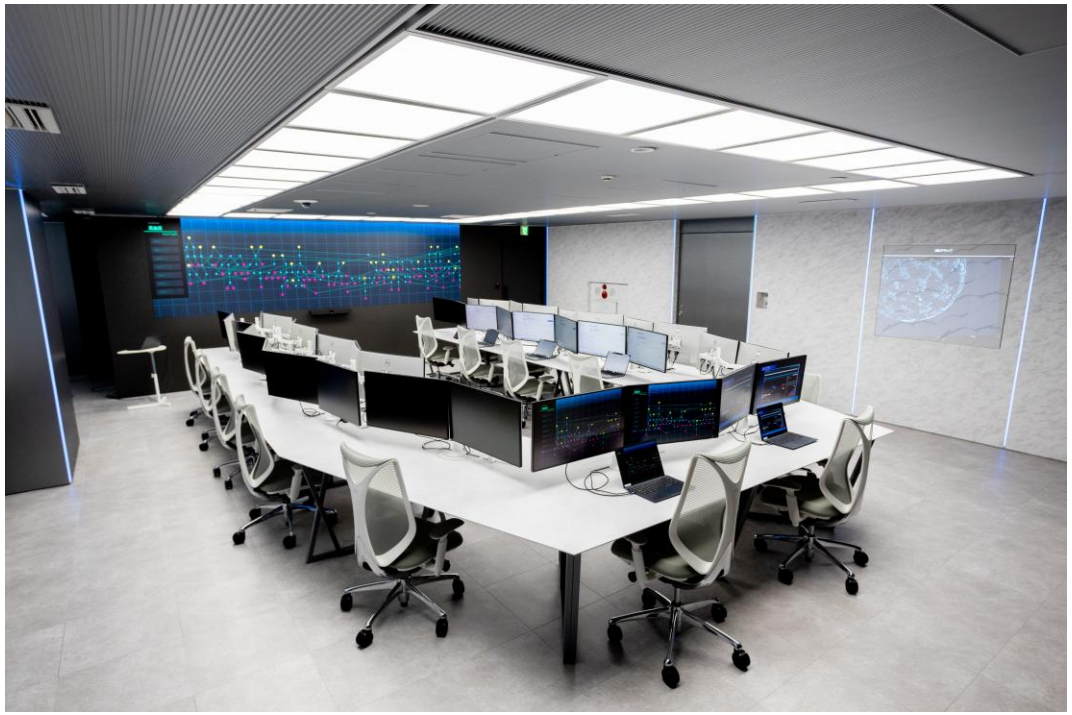
© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

02-2 AI創薬 Drug Discovery AI Factory

FRONTEO

ライフサイエンスAI事業 AI創薬分野 「KIBIT AI Biology Lab」が稼働

- 2026年5月にAI創薬の拠点「KIBIT AI Biology Lab」を開設
- 文献データベースと東京科学大学やオクラホマ大学との共同研究で得られるウェット検証・臨床研究結果を反映した解析が可能
- バイオシミュレーション※1ができるバイオロジーデジタルツイン※2を実現。研究開発の高度化と新薬の成功確率の向上に貢献



主なプロジェクト

製薬企業：共創プロジェクト、包括的共創モデル
バイオベンチャー：サイエンス支援、海外導出支援
FRONTEO独自：難病・希少疾患治療薬開発、開発途上化合物再開発、パンデミック時既存薬再開発

※1 コンピュータを使って生命現象や体の仕組み、細胞、分子の動きを再現・予測する技術 ※2 現実世界のモノや環境からセンサー（IoT）などでデータを集め、コンピュータ上の仮想空間に「双子」のように再現する技術

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

ライフサイエンスAI事業 AI創薬分野 4つのビジネスモデル

- 創薬プロセスの関与レベルや契約形態に応じて設計された4つのAI創薬ビジネスモデル
- 短期収益から中長期の導出・ロイヤルティまでを、複数のAI創薬ビジネスモデルで創出するポートフォリオを構築

① 包括的共創モデル

コンサルティングフィー / リテーナーフィー / ライセンスアウト一時金 / マイルストーン・ロイヤルティ

製薬企業の研究開発戦略全般に対する意思決定支援
中長期の業務提携契約をベースに、全社横断でDDAIFを活用

Partner
- 丸石製薬

POINT
- 製薬企業の研究開発方針や戦略を踏まえた解析・仮説提示が可能
- 戦略レベルでの意思決定にDDAIFを活用することで、社内の全プロジェクトにおいて網羅的かつアンバイアスなシーズ・パイプライン管理が可能

② 自社研究・共同研究

ライセンスアウト一時金 / マイルストーン・ロイヤルティ

FRONTEOが主体となり、DDAIFを活用して仮説・創薬標的を創出
自社研究／アカデミア等との共同研究を通じて検証を進め導出を目指す

Partner
- UBE
- 東京科学大学
- オクラホマ大学
- 熊本大学
- メタジェンセラピューティクス
- カイオム・バイオサイエンス

POINT
- 中間成果に応じて複数の出口を想定
- 共創プロジェクトや導出への発展可能性

包括的な業務提携契約へ深化

製薬企業との共創PJへの展開

③ 共創プロジェクト

コンサルティングフィー / リテーナーフィー / ライセンスアウト一時金 / マイルストーン・ロイヤルティ

特定ニーズを起点に、テーマ・プロジェクト単位で
DDAIFを活用した研究開発を推進

Partner
- 第一三共
- 武田薬品工業
- エーザイ
- EAファーマ
- 中外製薬
- 富士製薬工業
- マルホ
- 日華化学
- 日本新薬
- Meiji Seika ファルマ
- S-Quatre
- 参天製薬
- など

POINT
- 特定テーマに集中した検討が可能
- プロジェクト成果に応じて、次フェーズや包括的共創モデルへの発展可能性

④ DDAIF Innovation Bridge

コンサルティングフィー / ライセンスアウト一時金 / マイルストーン・ロイヤルティ

技術（DDAIF）と資金支援を組み合わせ、
バイオベンチャーの導出成功確率向上とパイプライン価値最大化を支援

Partner
- エヌビィー健康研究所
- セルアクシア
- C4U
- 糖鎖工学研究所
- タグシクス・バイオ
- ヒューマンライフコード
- スコヒアファーマ
- など

POINT
- DDAIFによる機序仮説の強化と、出資を含む資金支援により、パイプライン価値の高度化と研究開発加速を実現
- バイオベンチャーの研究面・資金面の課題を解消し、企業価値向上への道筋を構築

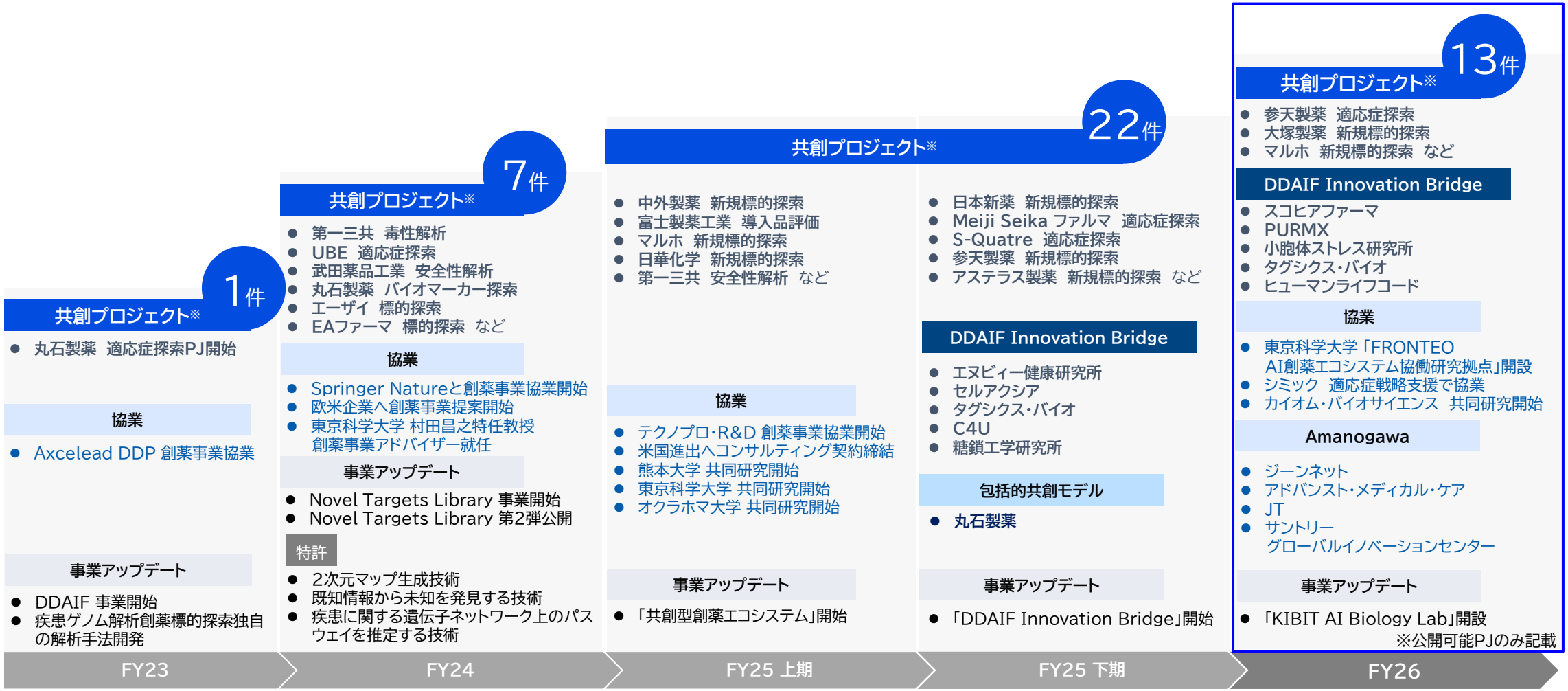
高 ← アップフロント収益の確実性 → 低
限定的 ← 中長期アップサイドの規模 → 大

※ 公開可能PJのみ記載

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

ライフサイエンスAI事業 AI創薬分野 “Drug Discovery AI Factory（DDAIF）” 沿革

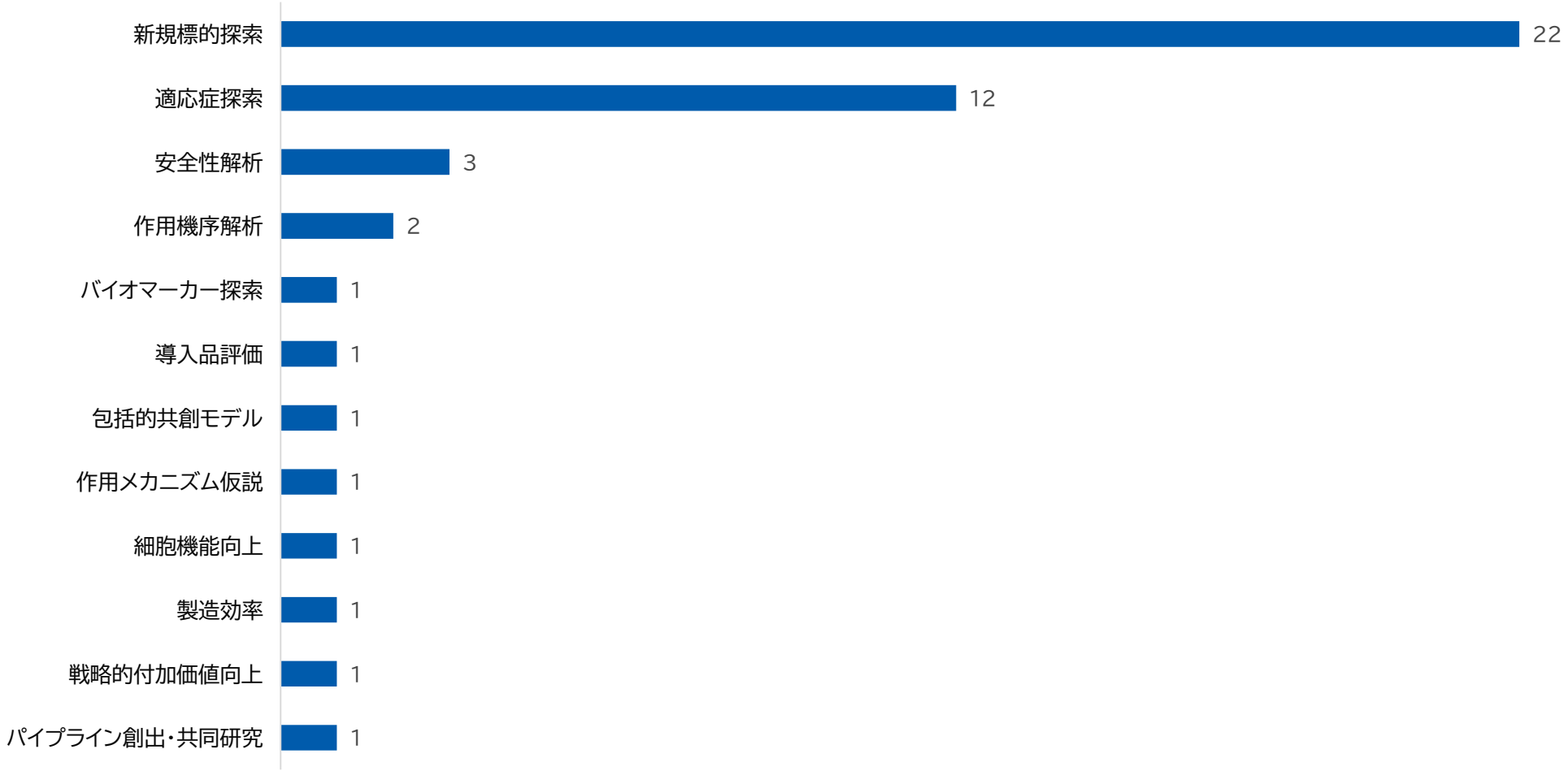
- 2023年7月のDDAIF開始以来、特許に裏付けられた技術がPOCでその実績を認められ、製薬企業等との共創プロジェクトへ発展
- 「KIBIT Amanogawa」は、創薬分野以外の食品・健康、化粧品、素材分野などへの導入が進む
- 米国での展開を本格的にスタート



© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

ライフサイエンスAI事業 AI創薬分野 創薬プロジェクトソリューション一覧

- 新規標的探索や適応症探索をはじめ、様々なソリューションを提供
- 創薬研究初期の新規標的探索ソリューションのニーズが一番高く、医薬品開発の成功確率向上への貢献に期待

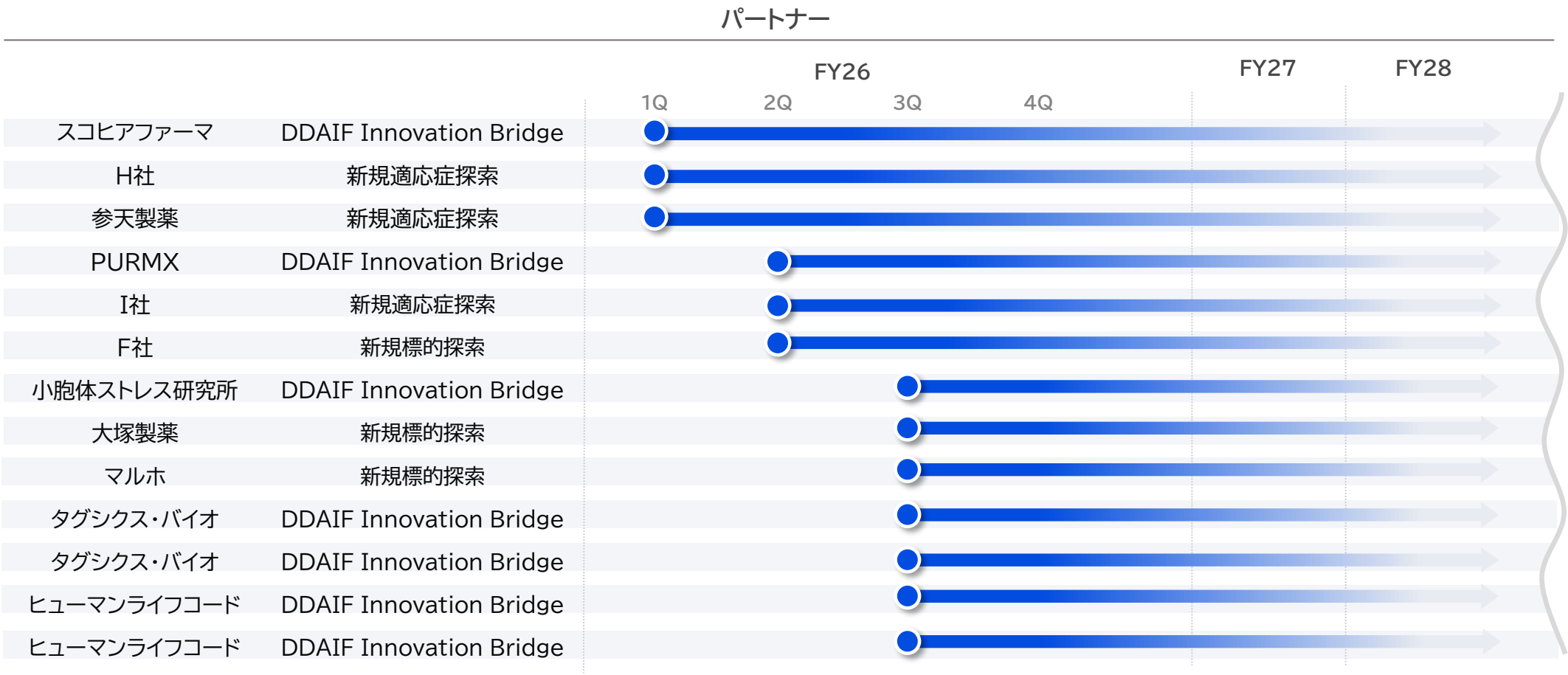


※ DDAIF Innovation Bridgeでは、複数のソリューションを提供しているため、パートナー数とは一致しない

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

ライフサイエンスAI事業 AI創薬分野 創薬プロジェクトパートナー

- FY26も引き続き順調に案件を積み上げ、**13件受注**
- 参天製薬・マルホなどで第2弾共創プロジェクトを開始



© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

ライフサイエンスAI事業 AI創薬分野 DDAIF Innovation Bridge提携先は9社に拡大

- バイオベンチャーへの出資とDDAIFによる創薬支援を組み合わせた共同創薬エコシステム事業。2025年8月以降、計9社と契約
- 一部の提携先では2ndフェーズに移行し、具体的なパイプラインの共同導出に向けた取り組みを推進

契約企業	提携時期	技術・モダリティ
エヌビィー健康研究所	2025年8月 （2ndフェーズ：2026年4月）	GPCRを標的とする抗体医薬品創出プラットフォーム「MoGRAA」を活用したパイプライン創出、導出（ライセンスアウト）に向けた共同研究
セルアクシア	2026年1月	細胞治療薬の製造効率および細胞機能向上
タグシクス・バイオ	2026年1月 （2ndフェーズ：2026年11月）	人工塩基技術を基盤とした人工核酸アプタマーの新規標的分子・適応症探索、核酸アプタマーの創製および細胞試験
糖鎖工学研究所	2026年1月	糖鎖技術を用いた新規標的分子・適応症探索
C4U	2026年2月	ゲノム編集技術「CRISPR-Cas3」を用いた遺伝子治療・細胞治療の新たな創薬パイプライン創出
スコヒアファーマ	2026年5月	保有する化合物の新規適応症探索
PURMX	2026年8月	マイクロRNA核酸医薬について、標的分子候補探索、作用機序の解明
小胞体ストレス研究所	2026年10月	糖尿病治療薬候補低分子化合物「ERS」について、バイオマーカー探索
ヒューマンライフコード	2026年10月	臍帯由来間葉系間質細胞（UC-MSCs）を用いた細胞治療製品の作用メカニズム解析

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

ライフサイエンスAI事業 AI創薬分野「Amanogawa」食品・健康分野、化粧品、素材などへ活用領域が拡大

- 医学論文探索AI「KIBIT Amanogawa」の導入が、製薬企業から**食品・健康分野、化粧品、素材などへ拡大**
- 医学・生命科学論文の知見を活用することで、新たな着想や仮説が生まれる可能性

発表	導入先	領域
2026年4月	株式会社ジーンネット	機能性食品・化粧品
2026年8月	株式会社アドバンスト・メディカル・ケア	化粧品・サプリメント
2026年10月	日本たばこ産業株式会社	サイエンス＆テクノロジー
2026年10月	サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社	食品・健康

「KIBIT Amanogawa」とは

解析対象論文数

4,000万報超

PubMedなど掲載の医学・生命科学論文を網羅的かつアンバイアスに解析

独自のアプローチ

非連続的発見

論文に直接記載されていない未報告の関連性を捉え、研究者の新たな着想・仮説生成を支援

各領域における「非連続的発見」と新たな価値創出を支援

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

ライフサイエンスAI事業 AI創薬分野「Amanogawa」JTとサントリーグローバルイノベーションセンターが導入

創薬で培った医学論文探索AIの活用が、新規事業・食品・健康分野へ広がる

JT

2026年10月8日発表

「JTのコーポレートR&D組織「D-LAB」に導入」

- JT Group Purpose「心の豊かさを、もっと。」の具現化に向け、長期的な視点で「心の豊かさ」の研究・探索・創造を推進
- 「心の豊かさ」という提供価値を起点に、サイエンス＆テクノロジー領域の研究や体験デザインの研究、将来的な商品・サービスにつながる事業シーズの探索・創出など、多岐にわたる活動を展開し、常時100件以上のプロジェクトを推進
- 新たな技術シーズにつながる仮説探索に活用

SUNTORY GLOBAL INNOVATION CENTER

2026年10月13日発表

「サントリーグローバルイノベーションセンターに導入」

- サントリーグループ全体の価値向上と事業成長に向けた研究・技術開発組織
- 医学・生命科学論文から新たな着想や仮説を探索する研究活動に活用

『非連続的発見』により新たな価値の創出と人々のQOL向上への貢献を目指す

2026年10月8日、10月13日プレスリリースより抜粋

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

ライフサイエンスAI事業 AI創薬分野「DDAIF」大塚製薬・マルホとの共創プロジェクトを開始

「DDAIF」で新規性の高い創薬標的を探索し、革新的な医薬品の創出を目指す

Otsuka

2026年10月27日発表

「大塚製薬と腎領域における創薬標的探索に関する
共創プロジェクトを開始」

- 大塚製薬の創薬研究に関する知見と、FRONTEOのAI解析技術および創薬研究者チームの知見を組み合わせて推進
- 指定する疾患における新規性の高い標的分子候補を抽出
- 科学的エビデンスを多角的に検証し、標的分子候補と疾患との関係性や作用メカニズムに関する仮説を構築

maruho

2026年10月29日発表

「マルホと皮膚科領域における創薬標的探索
第2弾共創プロジェクトを開始」

- 第1弾の共創プロジェクトにおいて、自社開発の方程式駆動型AI「KIBIT」による解析と、創薬研究者チームによる調査・考察を組み合わせ、複数の標的候補を見出し、作用メカニズムを説明する仮説を構築。細胞等を用いたウェット研究による検証段階へ移行
- 皮膚科領域を対象に、炎症性疾患における新たな創薬標的候補の探索を推進

『非連続的発見』と研究者の知見の融合で、革新的な治療薬の創出への貢献を目指す

2026年10月27日、10月29日プレスリリースより抜粋

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

02-3 米国展開・ブランディング

FRONTEO

ライフサイエンスAI事業 AI創薬分野 米国展開についてのイメージ図

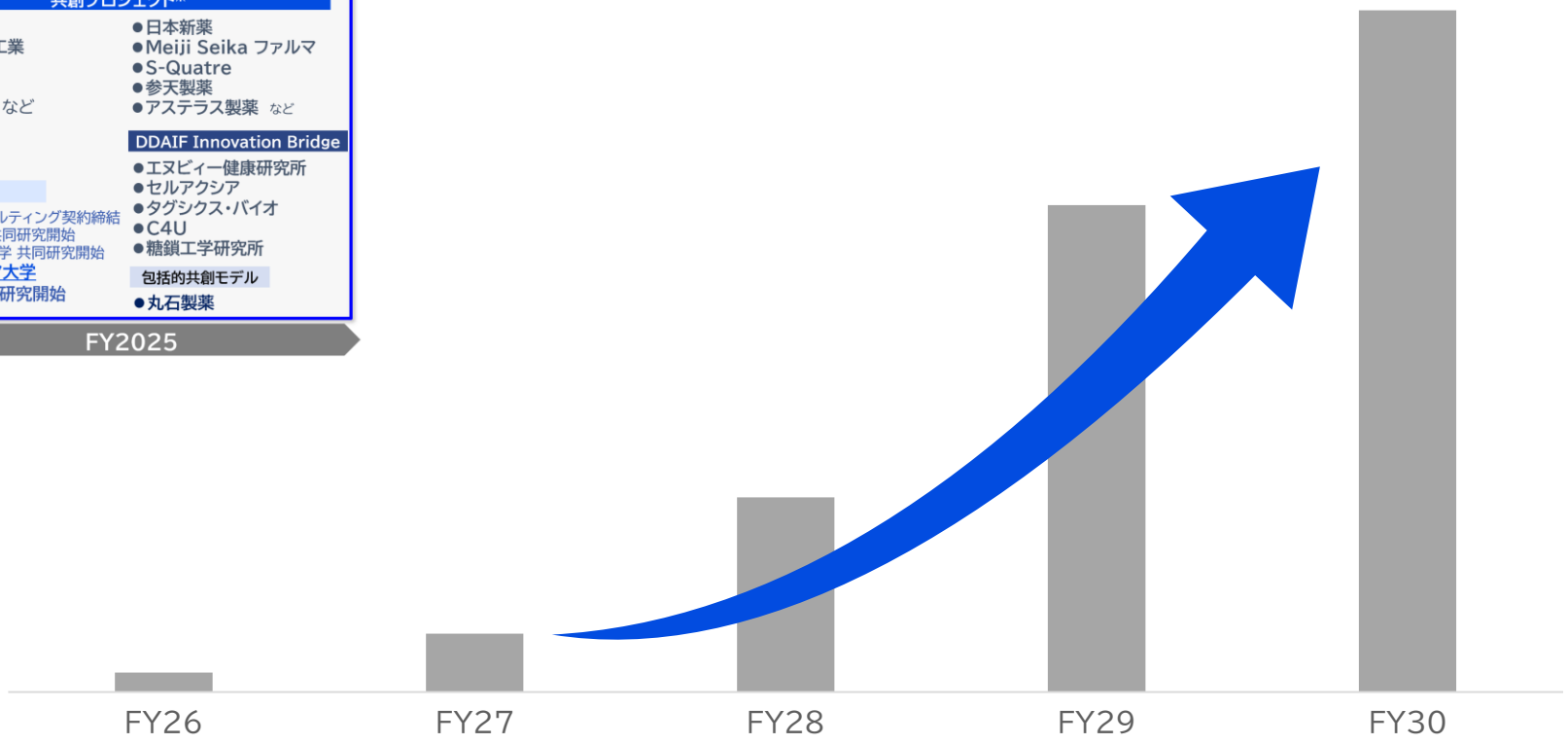
FRONTEO

FY26は米国進出を本格化。日本における製薬企業やベンチャー企業、アカデミアなどと共創プロジェクトや協業が着実に拡大していった流れと同様に、米国においても様々なパートナーとの協業を着実に拡大すべく活動中

日本でのAI創薬事業拡大



米国でのAI創薬の事業拡大イメージ



© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

ライフサイエンスAI事業 AI創薬分野 AI創薬サミット「AI DDD」に出展・講演

AI創薬の国際カンファレンス「AI Drug Discovery & Development Summit 2026」に出展
豊柴 博義取締役／CSOが講演
自社開発AI「KIBIT」による「非連続的発見」と創薬研究実績が世界の製薬企業から高い関心と評価を獲得



豊柴が「Can AI Discover Biology That Has Never Been Reported?（邦題：AIは、これまで報告されたことのない生物学的知見を発見できるか？）」をテーマに講演

本講演では既存の知識を統合・整理するAIとは異なり、膨大な医学論文の解析から、論文未報告の疾患と標的分子の関係性を予測する「非連続的発見」のアプローチを解説するとともに、DDAIFを活用してすい臓がんの新規標的分子候補を短期間で抽出し、その後のin vitro試験で細胞増殖抑制効果を確認した事例を紹介しました。また、標的分子探索に加え、適応症探索、ドラッグリポジショニング、バイオマーカー探索などDDAIFの幅広い活用可能性を提示しました。



グローバル大手製薬企業の研究開発関係者を中心とした二百数十名が講演を聴講。
「非連続的発見」に高い関心が寄せられた



世界の大手製薬企業やバイオテクノロジー企業
AI・GPUクラウド企業が参加

＊「AI DDD」：世界の大手製薬企業や研究機関などが参加する、AI創薬に特化した国際カンファレンス。

2026年11月11日プレスリリースより抜粋

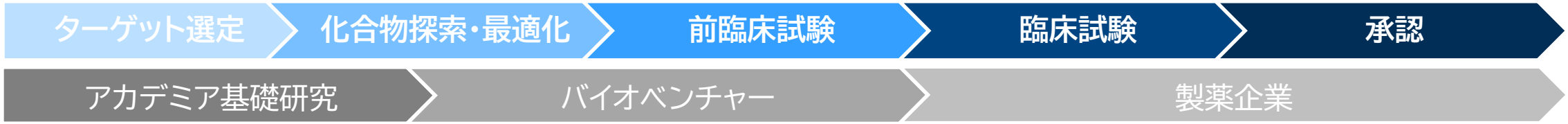
© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

02-4 AI創薬事業 目指す姿

ライフサイエンスAI事業 AI創薬分野 創薬プロセスの最上流工程を担う

FRONTEO

DDAIFにより、通常10年以上を要するターゲット選定から化合物探索・最適化、前臨床試験までのプロセスを大幅に効率化し、短期間での導出が可能に



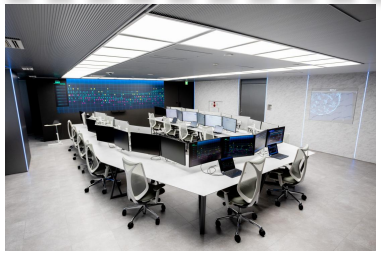


バイオベンチャー群
・低分子 ・中分子 ・高分子
・GPCR抗体 ・糖鎖 ・核酸
・CRISPR-Cas3
・ダイレクトコンバージョン技術

製薬企業へ導出



東京科学大学



KIBIT AI Biology Lab

熊本大学 Kumamoto University

The UNIVERSITY of OKLAHOMA

オクラホマ大学

FRONTEO DDAIF

Real World Dataを活用したトランスレーショナルリサーチ(予定)

半導体業界バリューチェーン



© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

ライフサイエンスAI事業 AI創薬分野 ライセンスアウトパイプライン

- 製薬企業への導出（ライセンスアウト）を目指すパイプラインが複数進行中
- すい臓がん案件は、米国におけるがん研究の中核機関の一つであるオクラホマ大学で研究を推進。今後は動物実験により、さらなるエビデンスを蓄積
- エヌビィー健康研究所との案件は、最短で2026年度中の導出（ライセンスアウト）を視野に活動中

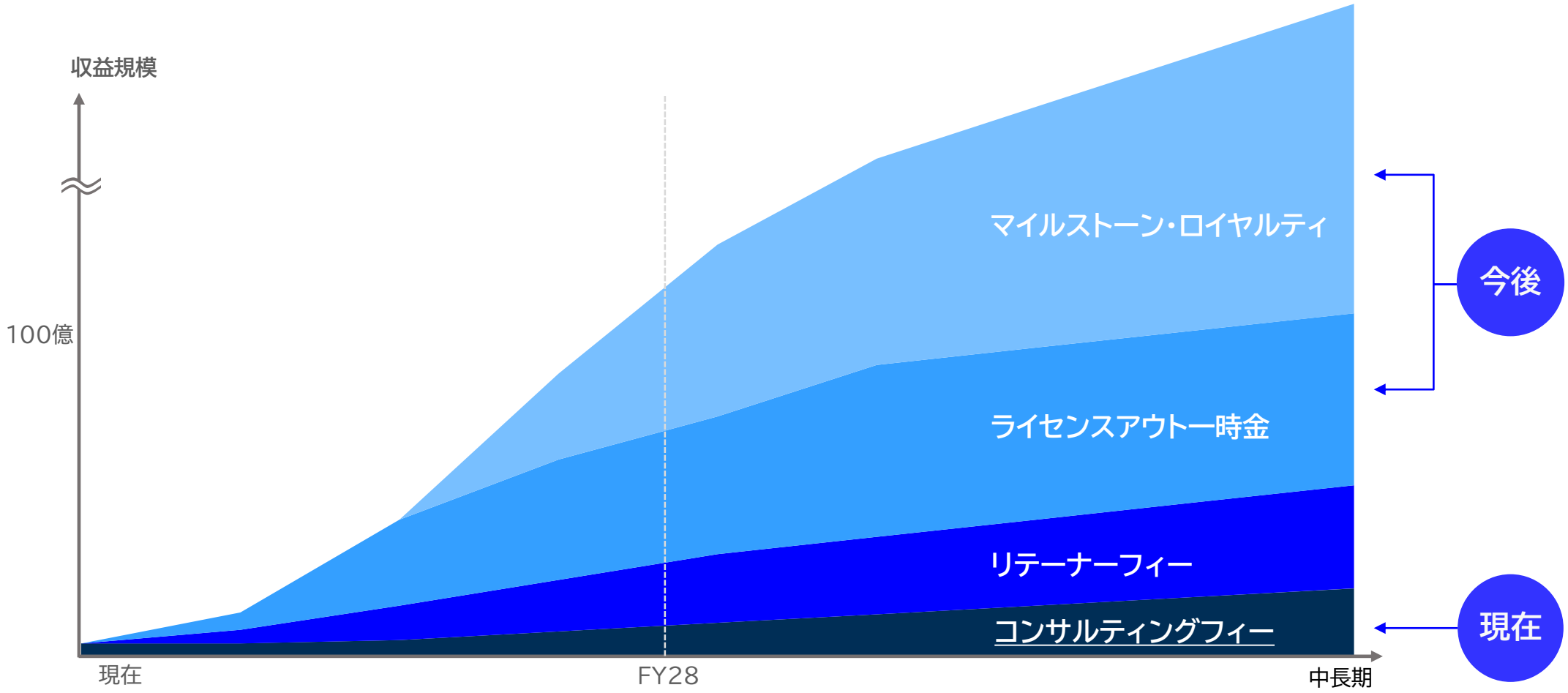
ライセンスアウトパイプライン

案件/領域	FRONTEO エコシステム			導出	
	ターゲット選定	リード探索・最適化	前臨床試験	臨床試験	承認
すい臓がん	✓	リード探索・最適化			
① 自社研究。in vitroにてがん細胞の増殖抑制試験を行い、一定の効果を確認。米国オクラホマ大学武部研究室で追加試験を実施。今後in vivoへ移行					
線維症	✓	✓	前臨床試験		
② エヌビィー健康研究所との「DDAIF Innovation Bridge」共同開発案件。GPCRを標的とした抗体医薬品					
オンコロジー	✓	✓	✓	臨床試験	
③ 他社との共同プロジェクト					
低分子創薬シーズ	✓	✓	前臨床試験		
④ 他社との共同プロジェクト。創薬シーズの創出および製薬企業への導出を見据えた段階					

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

ライフサイエンスAI事業 AI創薬分野 ビジネスモデル成長イメージ

- FRONTEOは医薬品開発の設計図ともいえる「仮説」を提供
- 共創プロジェクトをベースとした安定的な収益モデルを基盤とし、創薬開発の進捗に応じたマイルストーンや、パイプライン導出型のビジネスモデルによる、中長期的な非連続成長を目指す



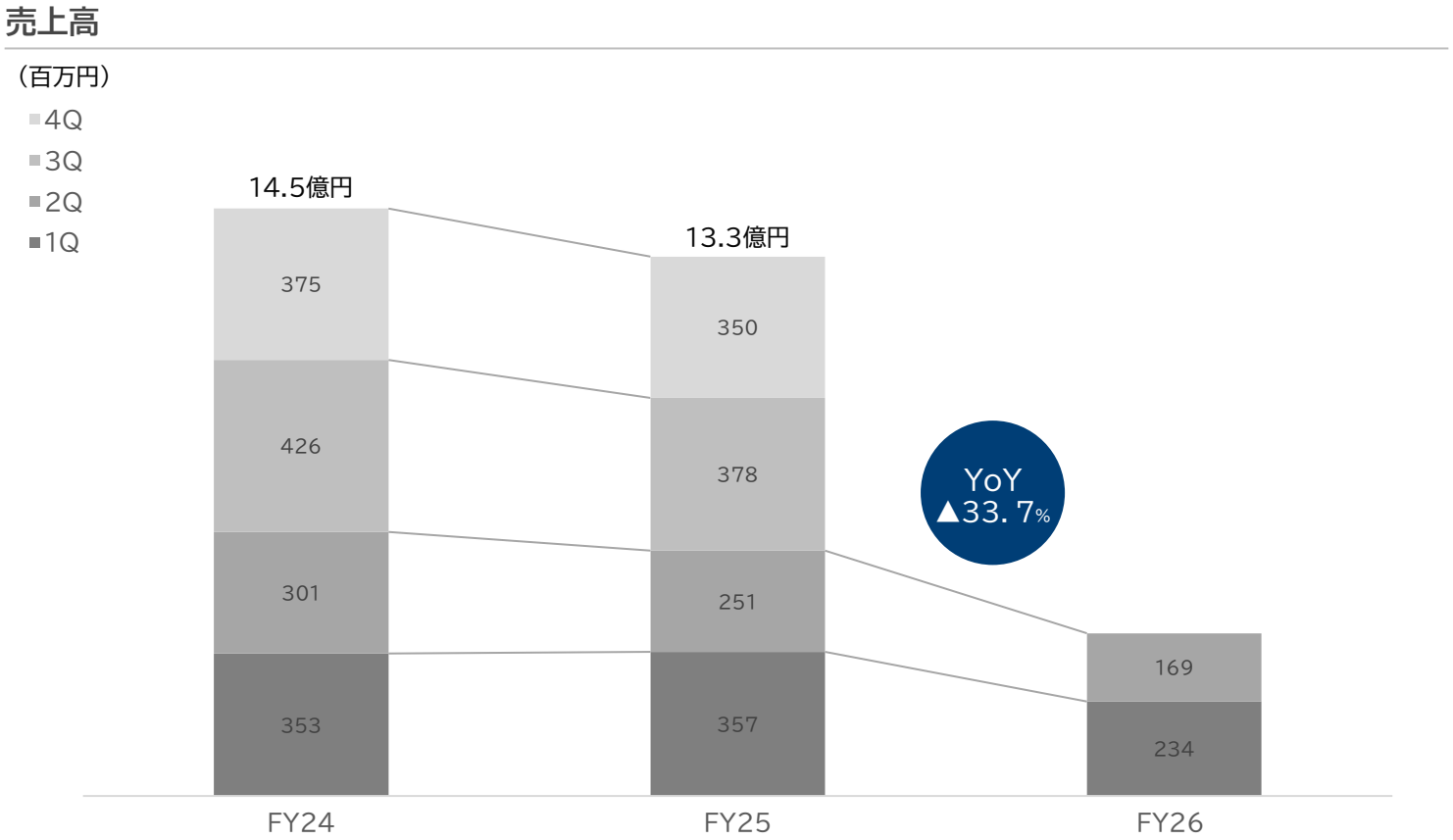
© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

03 リスクマネジメント事業

FRONTEO

リスクマネジメント事業 BI・コンプライアンス支援分野 分野別売上高

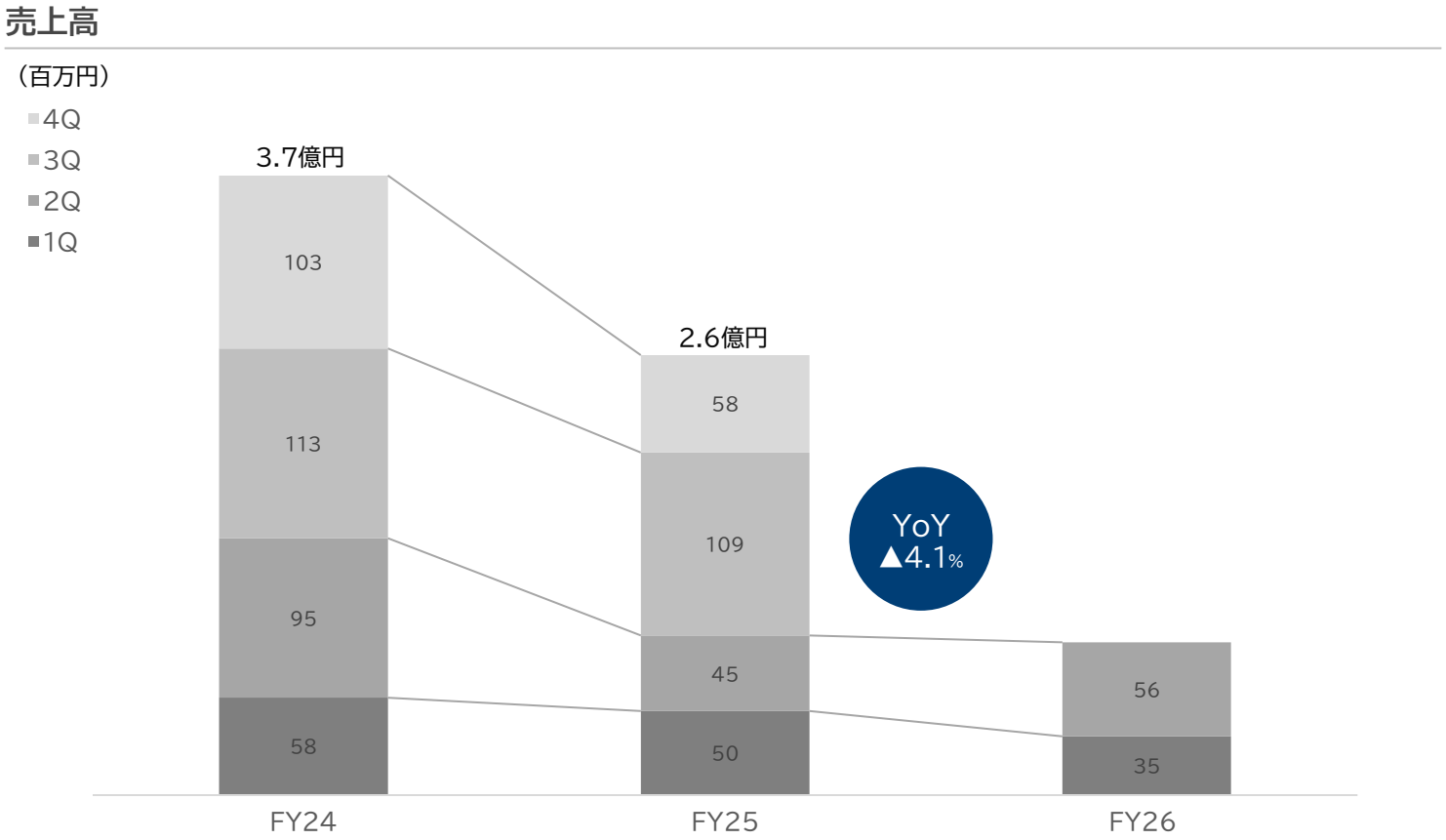
- 売上高は前年同期比33.7%減
- 昨年度受注した大手金融機関向け案件の収益貢献が開始したが、製造業を含む大口顧客の解約をカバーするには至らず
- 今後も、情報漏洩、人権問題、品質不正などの社会的重要度の高いテーマにおける需要の取り込みを推進するとともに、プロダクトの選択と集中を通じて収益性の高い事業構造への転換を進める



© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

リスクマネジメント事業 BI・プロフェッショナル支援分野 分野別売上高

- 売上高は前年同期比4.1%減
- 新規案件の獲得に時間を要しているが、アルネッツとの組み合わせにより、DX推進の初期段階からAI導入・高度化に至るまで、包括的なDX支援を可能なものとし、持続的な成長を目指す

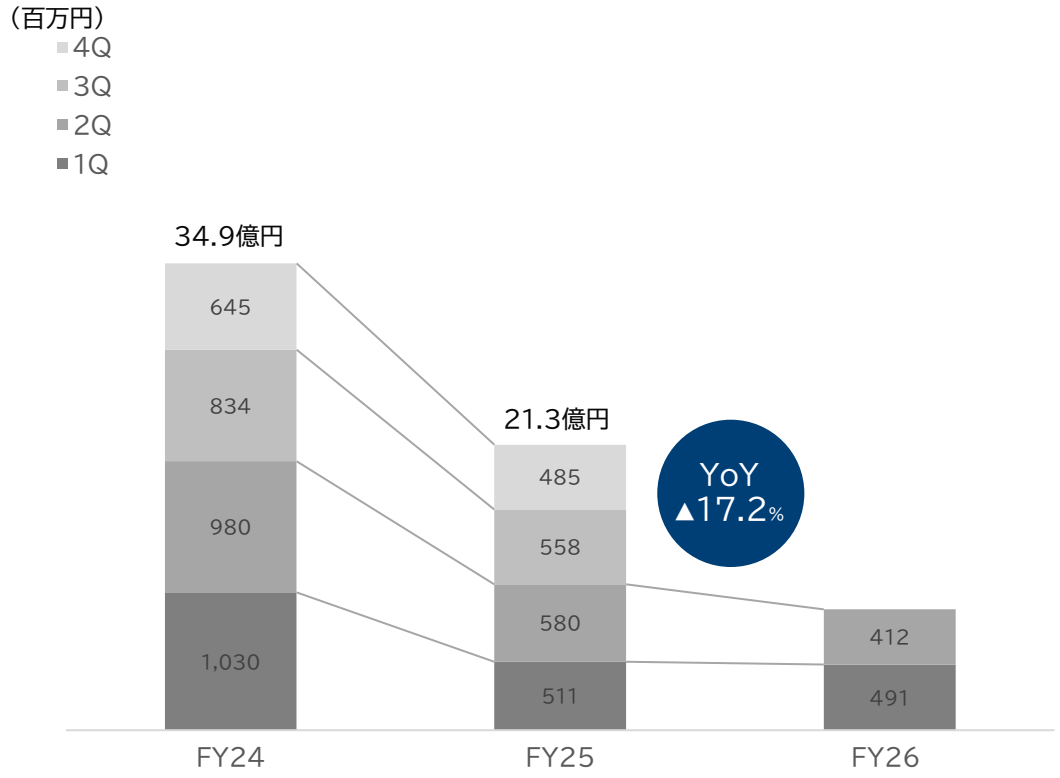


© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

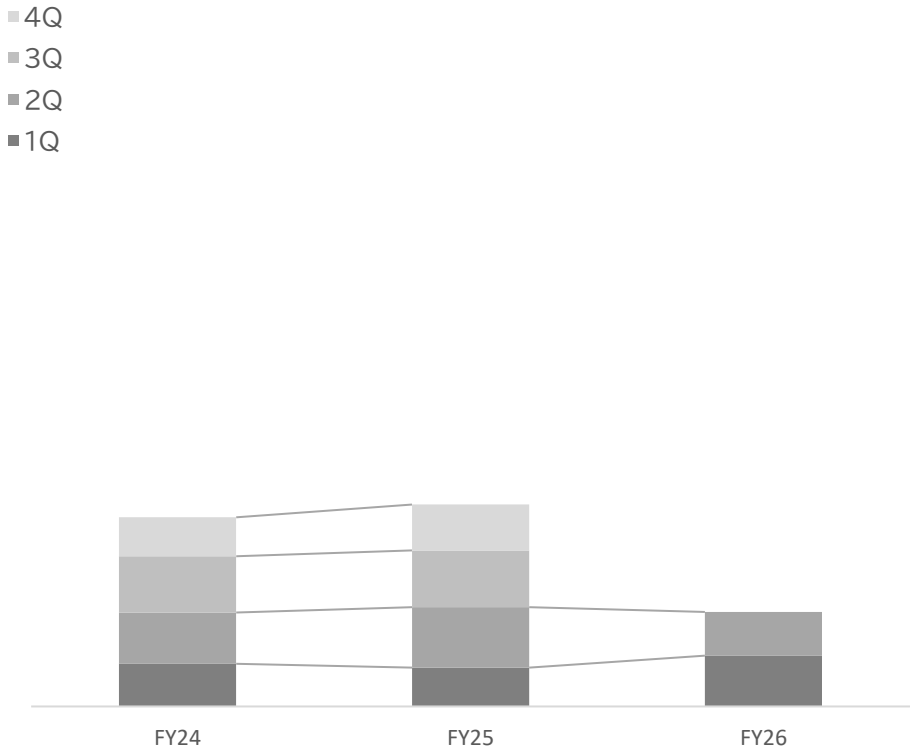
リスクマネジメント事業 リーガルテックAI分野 分野別売上高

- 売上高は韓国子会社譲渡により前年同期比17.2%減
- 国内では第三者委員会や特別調査委員会を含む調査ニーズの高まりを受け、デジタル・フォレンジック案件は堅調に推移
- 相次ぐサイバー攻撃によりサイバーセキュリティ案件が増加中

売上高



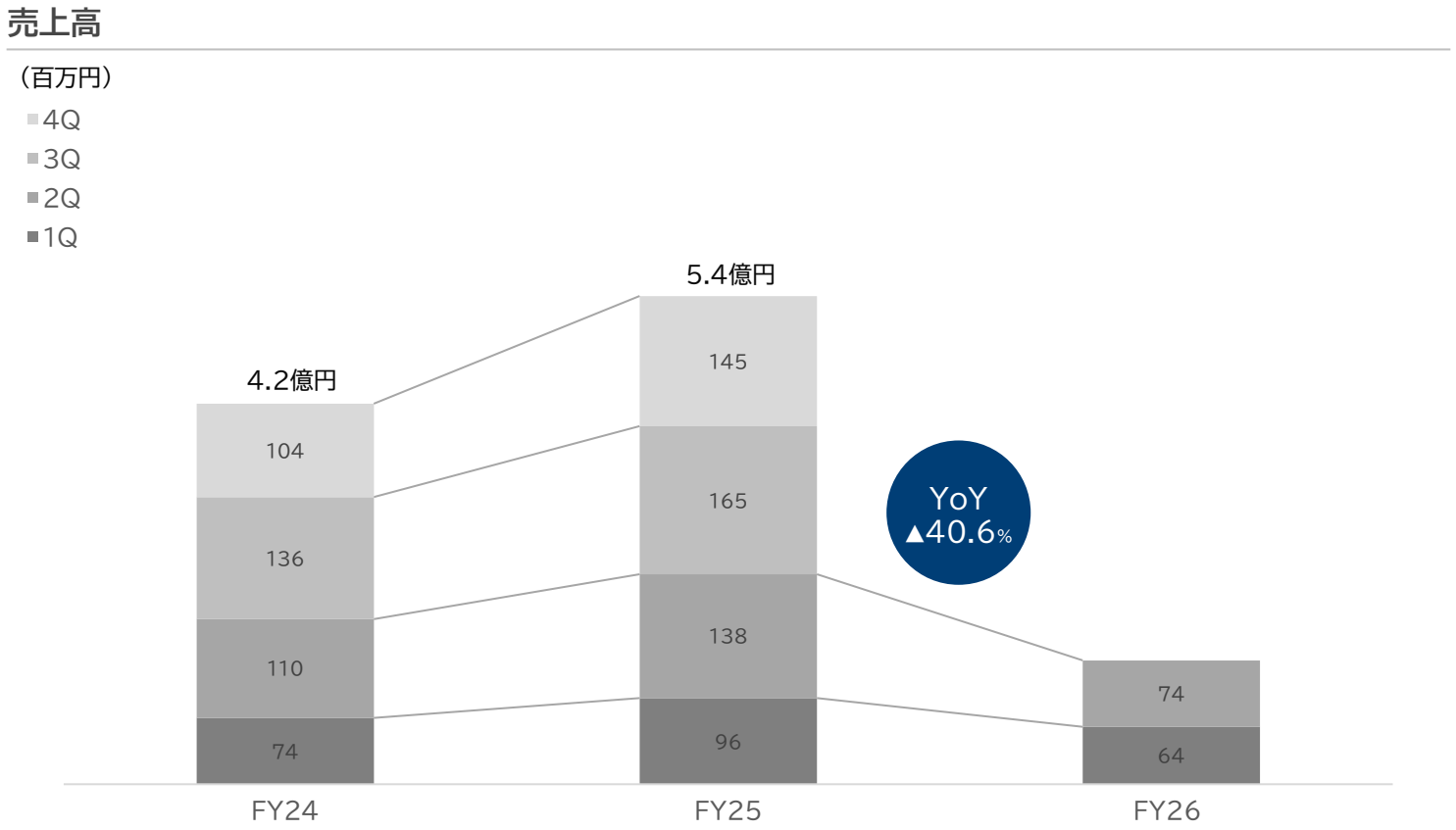
デジタル・フォレンジック



© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

リスクマネジメント事業 経済安全保障分野 分野別売上高

- 売上高は前年同期比40.6%減
- 特許12件を保有する独自のAI解析技術を活用した、経済安全保障対策AIソリューション「KIBIT Seizu Analysis」、**財務省が導入**
- 日本の研究競争力と安全保障を脅かすリスクとして、国際的な研究活動における技術流出や外国からの不当な影響への懸念が高まる中、日本政府は2025年12月に「研究セキュリティの確保に関する取組のための手順書」を策定。研究機関や企業に対して体制整備を求めるなど、本分野における需要は今後も拡大する見込み



© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

リスクマネジメント事業 経済安全保障分野 研究セキュリティ支援とサプライチェーン調査をサービス強化

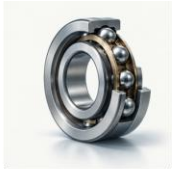
研究セキュリティ支援サービスを拡充　2026年10月21日発表

「研究者ネットワーク解析を強化」

- 大学・研究機関や企業向けの研究セキュリティ支援サービスを拡充
  ①解析対象論文データの拡充
  ②研究者検索機能の改善
  ③組織単位でのモニタリング機能の強化
  ④制裁リストと懸念リストの拡充







食品・保存	精密加工	回転部品
フリーズドライ装置	NCフライス盤(金属等の加工用)	ラジアル玉軸受
氷を作る能力：10kg以上1,000kg未満 ／24時間、かつ蒸気・ガスで内部滅菌 **輸出令別表1 3の2項(2)5** **貨物等省令 第2条の2第2項第5号**	5軸以上の輪郭制御、移動量1m未満の 直線軸で一方向位置決めの繰返し性 0.9μm以下(1軸以上) **輸出令別表1 6項(2)** **貨物等省令 第5条第2号ロ(ニ)1**	推進薬制御用ポンプに使用可能で、 精度2級以上(JIS B1514-1)、 内径12～50mm・外径25～100mm・ 幅10～20mmの全条件を満たすもの **輸出令別表1 4項(5の2)** **貨物等省令 第3条第6号の2**

身近な民生技術でも兵器に転用されうるため、共同研究、出資において
共有する技術情報の管理が重要

サプライチェーン調査2つの特許を出願　2026年11月2日発表

「サプライチェーンの一次チェックを3か月から1日に短縮」
「MVAで供給途絶への脆弱性を解析」

- 複雑かつ多層的な取引ネットワークをAIで一次チェックし、専門家が優先的に確認すべき経路を自動的に抽出する技術を開発
- 抗菌薬、航空機向け炭素繊維、量子コンピュータ関連材料など、公開されている取引情報だけでは供給構造を把握しにくい物資について、製造に必要な原材料・部品・工程のつながりから、供給途絶への脆弱性を解析する技術を開発

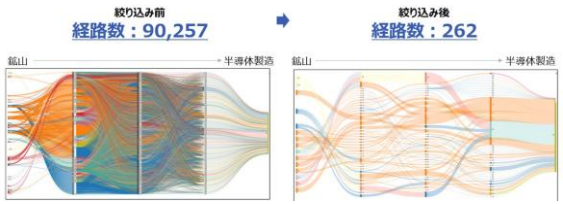


図1：オートデューデリジェンスによる調査対象経路の絞り込み（イメージ）



図2：MVAによる抗菌薬の製造工程の脆弱性解析（イメージ）

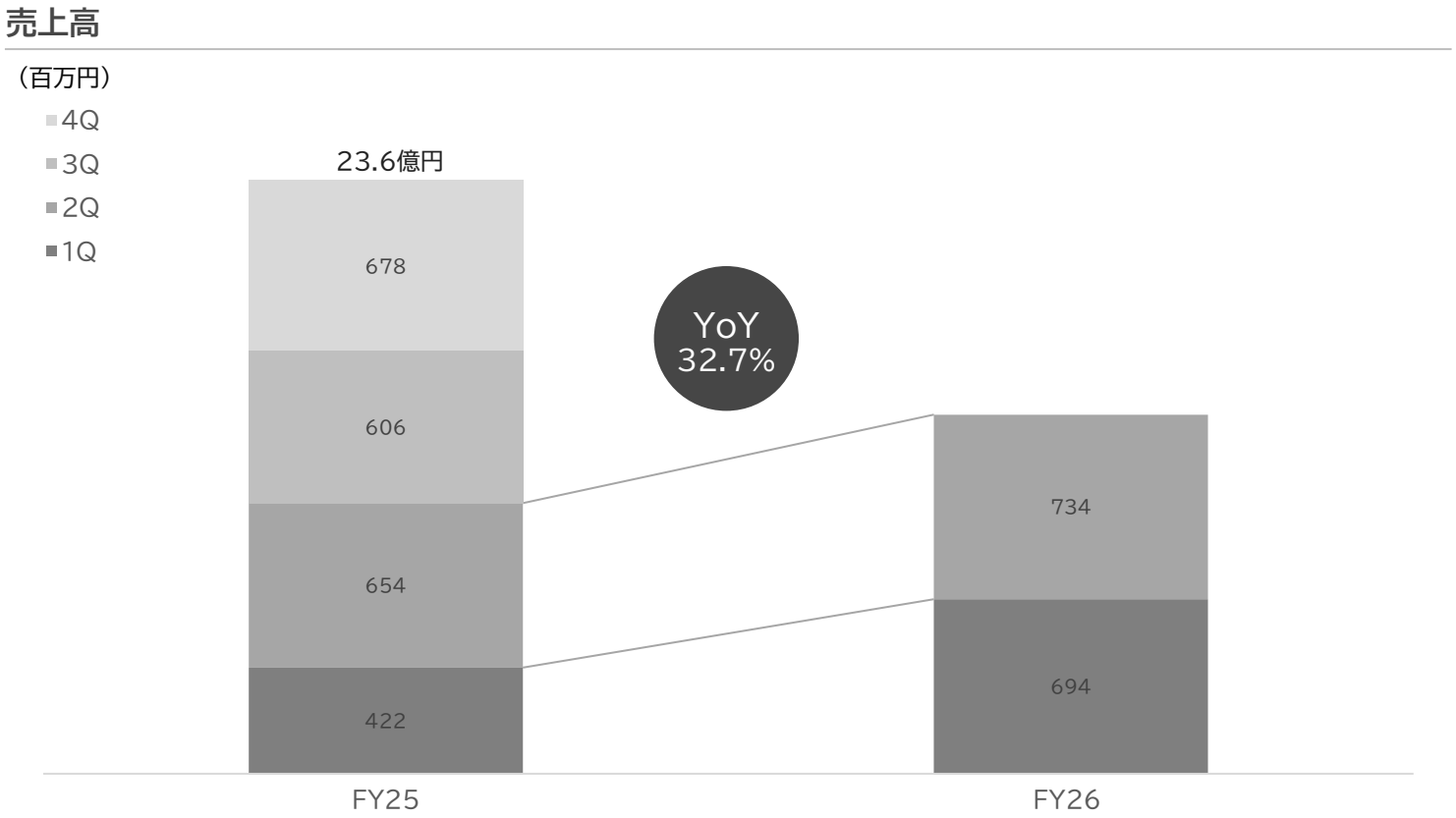
2026年10月21日、11月2日プレスリリースより抜粋

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

04 DX事業

DX事業 売上高

- 売上高は**32.7%増**と大幅増収
- アルネッツが提供するソリューションを通じて、企業内に分散するデータの統合およびデジタル化を実現し、企業のDX推進のための基盤を整備
- FRONTEOのプロフェッショナル支援ソリューションとの組み合わせにより、DX推進の初期段階からAI導入・高度化に至るまで、包括的なDX支援を可能なものとし、DX事業の持続的な成長を目指す



© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

Appendix

セグメント別財務情報

（百万円）	FY24 1Q	FY24 2Q	FY24 3Q	FY24 4Q	FY24 通期	FY25 1Q	FY25 2Q	FY25 3Q	FY25 4Q	FY25 通期	FY26 1Q	FY26 2Q
ライフサイエンスAI事業												
売上高	64	75	73	141	354	107	166	241	518	1,033	139	245
AI創薬分野	15	17	27	63	122	64	120	194	370	751	102	154
AI医療機器分野	48	58	46	78	231	42	45	46	147	281	36	91
営業利益	▲ 64	▲ 57	▲ 72	▲ 37	▲ 231	▲ 118	▲ 66	▲ 1	215	30	▲ 135	▲ 14
リスクマネジメント事業												
売上高	1,516	1,488	1,511	1,228	5,744	1,016	1,014	1,212	1,040	4,284	826	712
BI・コンプライアンス支援分野	353	301	426	375	1,457	357	251	378	350	1,338	234	169
BI・プロフェッショナル支援分野	58	95	113	103	370	50	45	109	58	264	35	56
リーガルテックAI分野	1,030	980	834	645	3,491	511	580	558	485	2,136	491	412
経済安全保障分野	74	110	136	104	425	96	138	165	145	545	64	74
官公庁	7	30	38	27	104	15	56	79	44	195	18	28
民間企業	66	79	98	76	321	81	82	86	100	350	45	46
営業利益	214	197	231	115	759	0	137	304	184	625	▲ 44	▲ 70
DX事業												
売上高	-	-	-	-	-	422	654	606	678	2,361	694	734
アルネッツ・DX内製化支援、システム開発分野	-	-	-	-	-	422	654	606	678	2,361	694	734
営業利益	-	-	-	-	-	36	10	43	26	117	24	44

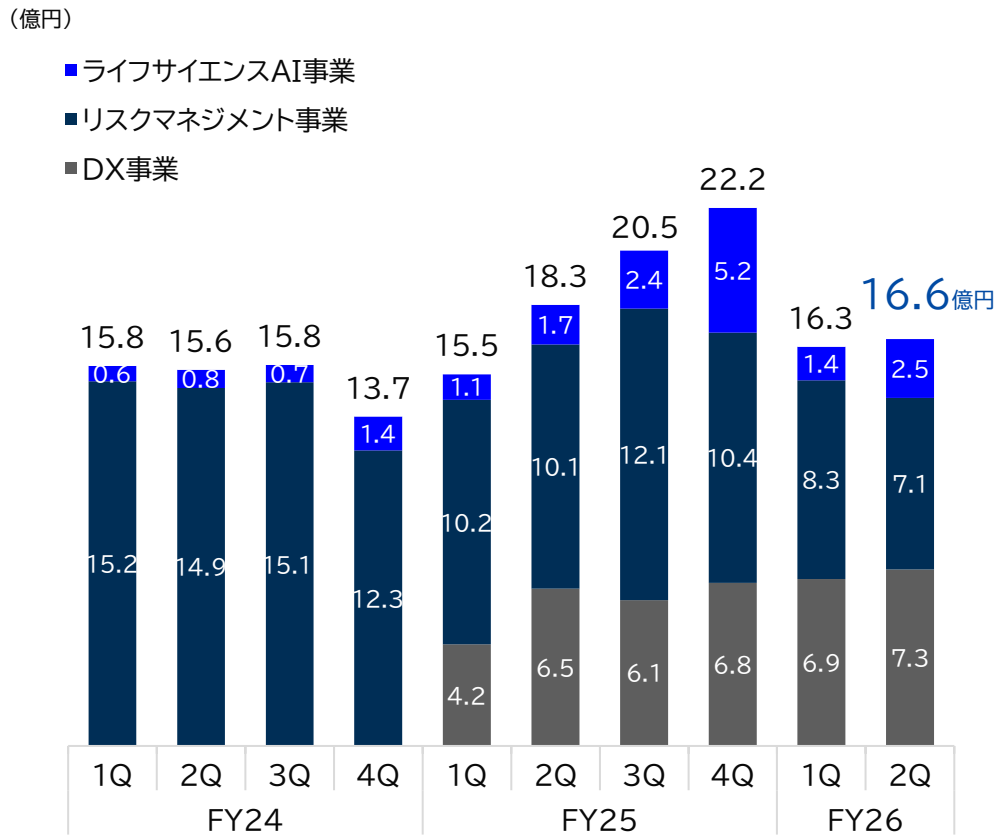
※ 2027年3月期よりセグメント変更しております。2026年3月期の売上高、営業利益などの項目は、変更後の区分方法により作成したものです。

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

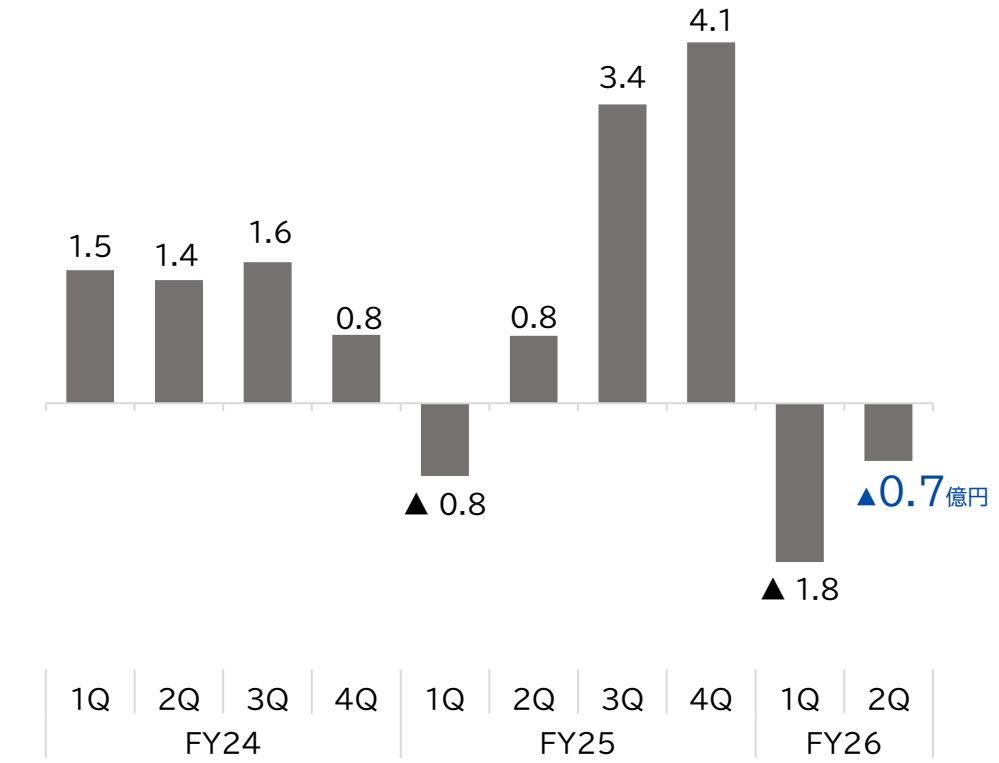
四半期毎の売上高・営業利益の推移

- ライフサイエンスAI事業（AI創薬分野）やDX事業といった注力領域への転換が順調に進行
- 連結営業利益は、リスクマネジメント事業の売上減少により営業損失

連結売上高



連結営業利益



※ 2027年3月期よりセグメント変更しております。2026年3月期の売上高、営業利益などの項目は、変更後の区分方法により作成したものです。

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

会社概要

会社名:	株式会社FRONTEO
上場証券取引所:	東京証券取引所グロース市場(証券コード:2158)
代表取締役社長:	守本 正宏
設立年月日:	2003年8月8日
資本金:	915,057千円(2026年9月30日時点)
従業員数(連結):	259人(2026年9月30日時点)
事業内容:	自社開発の方程式駆動型AI「KIBIT」の提供を通じた、社会課題と向き合う各分野の専門家の判断支援 (ライフサイエンスAI事業 ／リスクマネジメント事業<ビジネスインテリジェンス・コンプライアンス支援分野／ビジネスインテリジェンス・プロフェッショナル支援分野／リーガルテックAI分野／経済安全保障分野>／DX事業<株式会社アルネッツ・DX内製化支援、システム開発分野>)
主要取引先:	民間企業(化学・機械・教育・金融・建設・小売・自動車・商社・情報通信・食品・製薬・電子部品・電力・保険など) 官公庁(法執行機関・各種監視委員会)、国内外法律事務所、医療機関

Global Offices

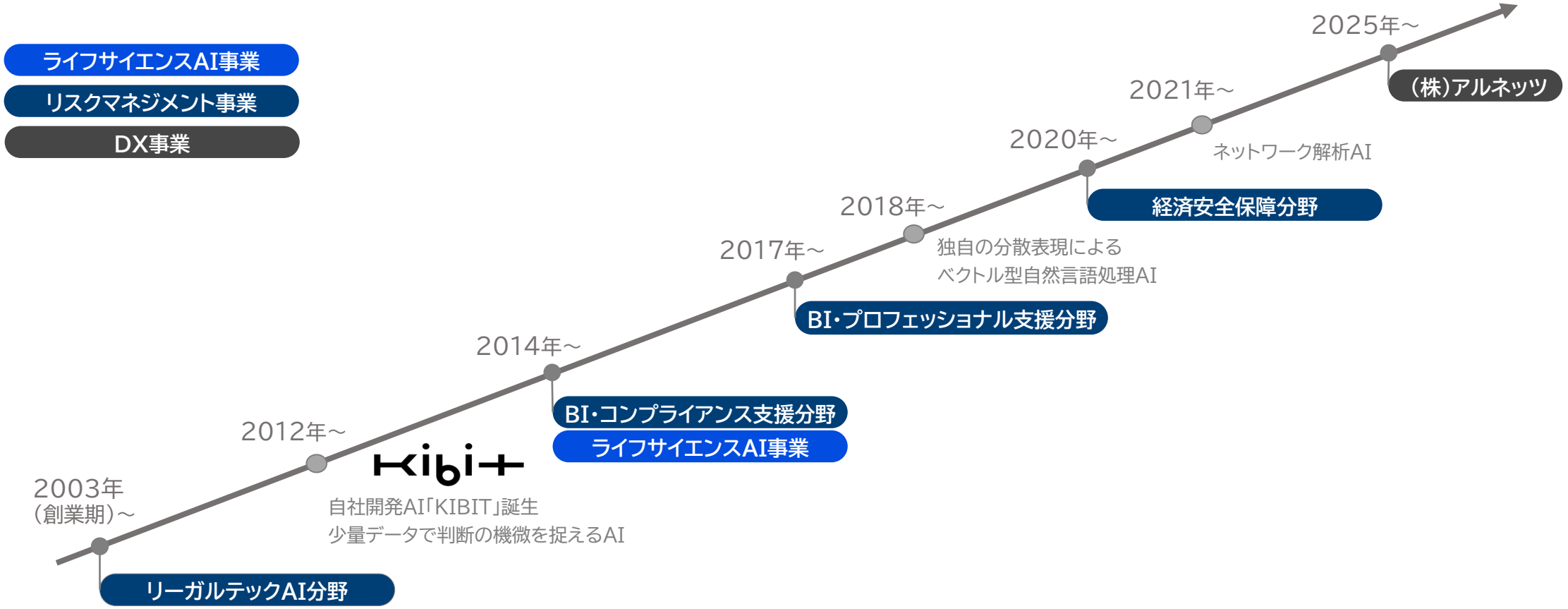


© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

10年を超えるAI事業実績

方程式駆動型AI「KIBIT」を基軸とした当社事業の変遷と実績

2012年の「KIBIT」誕生以降、事業領域の拡大および課題の多様化に合わせた技術進化を継続



© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

導入企業・機関

大手企業を中心に導入

金融機関

MUFG 三菱UFJ銀行
三井住友銀行
MIZUHO
りそな銀行
横浜銀行
足利銀行
イオン銀行
三菱UFJモルガン・スタンレー証券
SMBC日興証券
東京海上日動
明治安田
ほけんの窓口
かんぽ生命
サンワード証券株式会社

製造業

AJINOMOTO
AGC
TORAY
TEIJIN
kuraray
MITSUBISHI MOTORS
MORINAGA
TOYO TIRES

製薬企業

SHIONOGI
中外製薬
Daiichi-Sankyo
Sumitomo Pharma
Otsuka 大塚製薬
Eisai
科研製薬株式会社
ツムラ

サービス業

AEON
RACE

大学・研究機関

NIBIOHN 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
Institute of SCIENCE TOKYO
熊本大学 Kumamoto University

※ 2026年9月30日時点　一部掲載、順不同

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

方程式駆動型AI「KIBIT」の提供を通じて、日夜社会課題と向き合う各分野の専門家を科学的に支援

社会課題

病気　訴訟　不正　コンプライアンス　経済安全保障　技能伝承　DX

解決の努力

専門家

創薬研究者　医師　弁護士　犯罪捜査官　企業法務・コンプライアンス　経済安全保障分析官　熟練技能士



非連続的（新しい）発見

因果関係分析

判断支援

NLP AI（特許取得済み）

Kibit

FRONTEO

豊富な社会実装経験

マップ化する技術（特許取得済み）



© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

方程式駆動型AI「KIBIT」とは

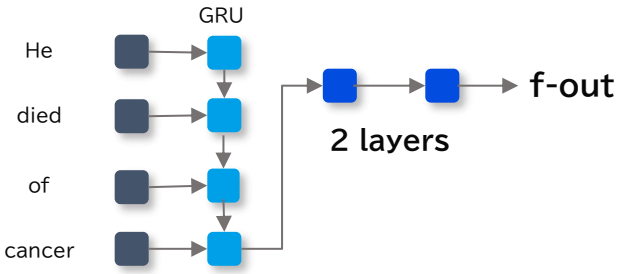
「KIBIT」の特徴

- 自然言語処理、ネットワーク解析に利用可能な軽量・高速・高性能な独自開発AI
- 省電力で環境負荷の小さいGreen microAI
- 少量の教師データでも性能を発揮する独自アルゴリズム搭載
- 判断根拠を直感的にビジュアライズ
- 世界で93件の有効特許登録(2026年9月30日時点)



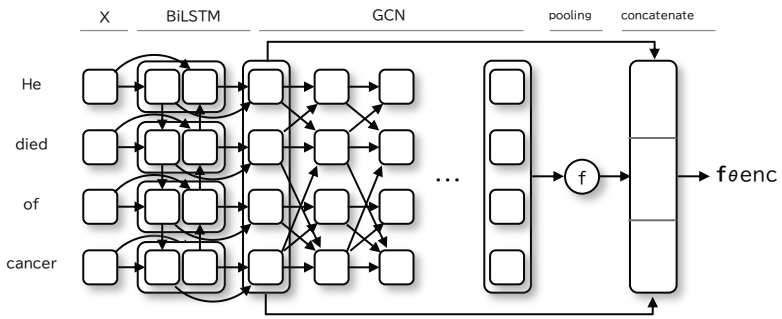
Kibit モデル

400分の1の構造



GCEモデル

4×100 layers



※1 Energy and Policy Considerations for Deep Learning in NLP, College of Information and Computer Sciences University of Massachusetts Amherst (Jun 2019) から抜粋
※2 日本のCO2排出量および日本の人口からFRONTEO作成 ※3 ※1の論文と同様の計算方法により、FRONTEO作成

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

純国産・方程式駆動型AI「KIBIT」

トヨシバ方程式

文書や単語を
意味をもったまま
解析することが可能

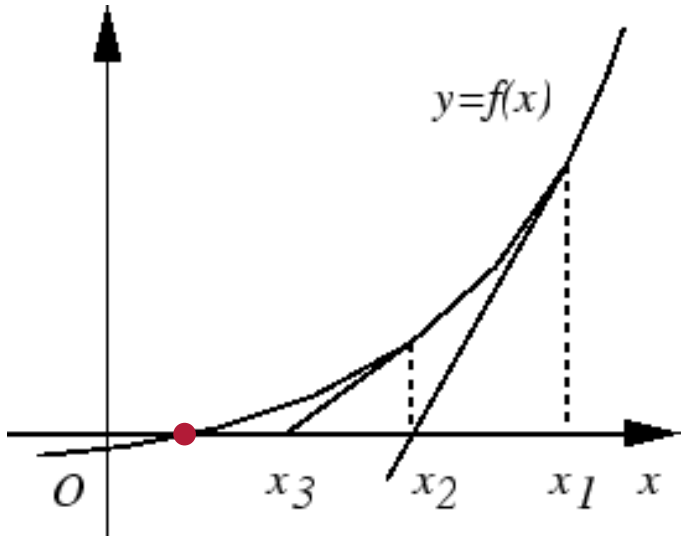
推論を実現

- ✓ 因果関係を理解
- ✓ 全く新しい発見
- ✓ 極省電力（CPU1個）

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

データ駆動型AI
（生成AI含む）

最適解



方程式駆動型AI
「KIBIT」

方程式

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2-4ac}}{2a}$$

$$ax^2 + bx + c = 0$$

$$a\left\{x^2 + \frac{b}{a}x + \left(\frac{b}{2a}\right)^2\right\} - a\left(\frac{b}{2a}\right)^2 + c = 0$$

$$a\left\{x^2 + \frac{b}{a}x + \left(\frac{b}{2a}\right)^2\right\} = a\left(\frac{b}{2a}\right)^2 - c$$

$$\left\{x^2 + \frac{b}{a}x + \left(\frac{b}{2a}\right)^2\right\} = \left(\frac{b}{2a}\right)^2 - \frac{c}{a}$$

$$\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 = \frac{b^2-4ac}{4a^2}$$

$$x + \frac{b}{2a} = \pm\sqrt{\frac{b^2-4ac}{4a^2}}$$

$$x = -\frac{b}{2a} \pm \frac{\sqrt{b^2-4ac}}{2a}$$

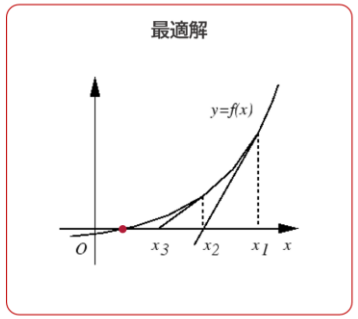
$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2-4ac}}{2a}$$

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

スーパーコンピューター＆AI



データ駆動型AI
（生成AI含む）



ウェットラボ＆ロボティックス









相関関係スクリーニングで出てきた膨大な結果をウェットラボで確認

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

方程式駆動型AI「KIBIT」による創薬支援

「KIBIT」は論文情報から バイオロジーにのみ沿った関係を抽出

医学論文



数百次元の コーパス



因果関係 マップ

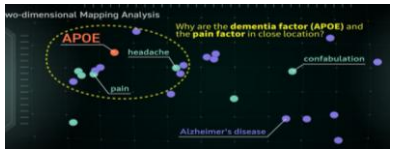


特許技術により、因果関係を示し、かつ 論文にも明記されていない関係も発見



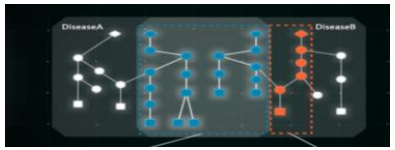
「KIBIT」による シミュレーション機能を活用した検証手法

2次元マップ解析



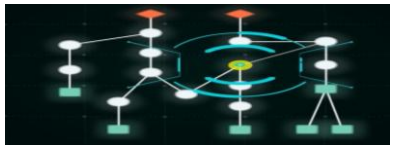
コーパスを2次元マップに変換し、疾患と遺伝子の新たな関連性を探索

重複差分分析



複数の疾患の差異をベクトル的に分析し、疾患特有のパスウェイを調べ、要因を特定

仮想ノックアウト実験



注目した遺伝子に関して、仮想的にノックアウトし、パスウェイがどのように変化するかを分析し、効果を確認

方程式駆動型AI （KIBIT）

方程式

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2-4ac}}{2a}$$

$$ax^2+bx+c=0$$
$$a\left\{x^2+\frac{b}{a}x+\left(\frac{b}{2a}\right)^2\right\}-a\left(\frac{b}{2a}\right)^2+c=0$$
$$a\left\{x^2+\frac{b}{a}x+\left(\frac{b}{2a}\right)^2\right\}=a\left(\frac{b}{2a}\right)^2-c$$
$$\left\{x^2+\frac{b}{a}x+\left(\frac{b}{2a}\right)^2\right\}=\left(\frac{b}{2a}\right)^2-\frac{c}{a}$$
$$\left(x+\frac{b}{2a}\right)^2=\frac{b^2-4ac}{4a^2}$$
$$x+\frac{b}{2a}=\pm\sqrt{\frac{b^2-4ac}{4a^2}}$$
$$x=-\frac{b}{2a}\pm\frac{\sqrt{b^2-4ac}}{2a}$$
$$x=\frac{-b\pm\sqrt{b^2-4ac}}{2a}$$

全て「KIBIT」で完結



© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

方程式駆動型AI「KIBIT」がもたらす画期的な創薬アプローチに関するホワイトペーパーを公開

- 学術誌「Nature」の論文にアクセス・分析を許されている唯一のAI
- 既知の文献情報から未知の関連性を発見する独自技術を活用した標的探索やドラッグリポジショニング等を支援するAI創薬支援サービス「Drug Discovery AI Factory（DDAIF）」を推進
- 「KIBIT」が2022年までのSpringer Nature掲載文献から予測した未知の創薬標的について、2024年の新しい文献で疾患と遺伝子の関連性が明らかになる

FRONTEO

自社開発の方程式駆動型AIエンジン

Kibit

分布仮説を忠実に再現したエンジン

既知から未知を発見する独自技術

遺伝子ネットワーク

×

SPRINGER NATURE

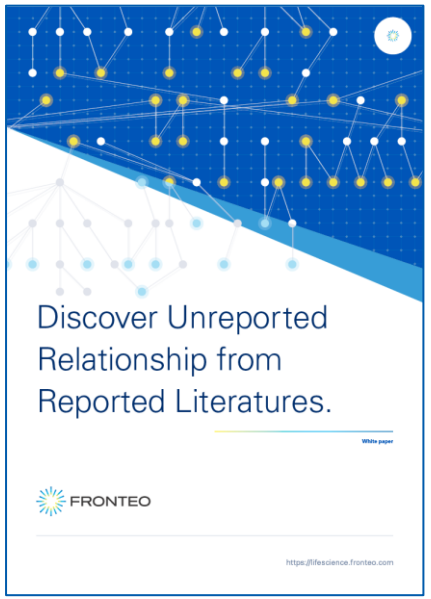
発見の進展に貢献するために、
信頼性が高く洞察に富む研究の出版

600雑誌、25年分、フルテキスト

センテンス数：約3億5000万

2回以上出現単語：約1260万単語

ホワイトペーパー



URL：https://lifescience.fronteo.com/documents-contact?doc=dl_lsai_snwhitepaper

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential



© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential

お問い合わせ先

株式会社FRONTEO
email: ir_info@fronteo.com

代表取締役社長
守本正宏Xアカウント

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。業界等における記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させて頂くものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

© FRONTEO, Inc. 2026 Proprietary and Confidential